



ETK2045026C

住友電気工業株式会社




屋外用小型接続箱 CTB01 工法書

ご使用前に、この工法書を良くお読みの上、内容を理解してから、ご使用ください。

お読みになった後も、この工法書は大切に保管してください。

▽ 安全上のご注意 ～安全にご使用いただくために必ずお守りください～

この工法書には、人体への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用いただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次に示すとおりになっております。内容を良くご理解のうえ本文をお読みください。

本製品に関する安全上のご注意	
 危険 右記内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が極めて高いことが想定されます。	—
 警告 右記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本品は、落下などの無いように、確実に固定してください。 ・ 高所での施工時には、部品及び使用工具が落下しないようにご注意ください。
 注意 右記内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性および、物的損害の可能性が想定されます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刃物などのご使用時には十分に注意してください。 ・ 本接続函の組立には、本製品以外の部品を使用しないでください。 ・ 締め付けトルクを規定した作業は、その規定を守って作業をしてください。接続函の機能低下及び破損の原因となります。
お願い 右記の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の性能を発揮出来ない可能性及び、機能停止をまねく可能性が想定されます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 光ファイバの配線は、許容曲げ半径15mm以上をお守りください。 ・ 融着作業は、ご使用の融着接続機の取扱説明書をご覧ください。

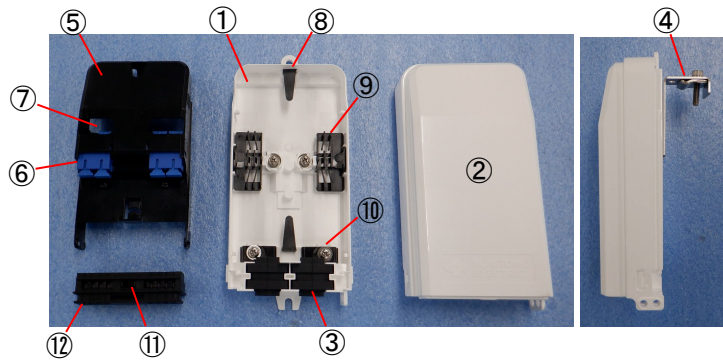
[工程]

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 使用工具 | 6. ケーブルの処理 |
| 2. 構成品 | 7. ケーブルの固定 |
| 3. 設置方法 | 8. 一次側コネクタの接続 |
| 4. 蓋の開閉 | 9. 二次側コネクタの接続 |
| 5. アダプトレイの開閉及び着脱 | |

1. 使用工具

No.	工具名	No.	工具名
1	プラス・ドライバー(2番)	5	シースカッター
2	マイナス・ドライバー	6	ニッパー
3	トルクレンチ7N・m以上(六角レンチ:対辺5mm)	7	ペンチ
4	コンベックス	8	ケーブルカッター

2. 構成品

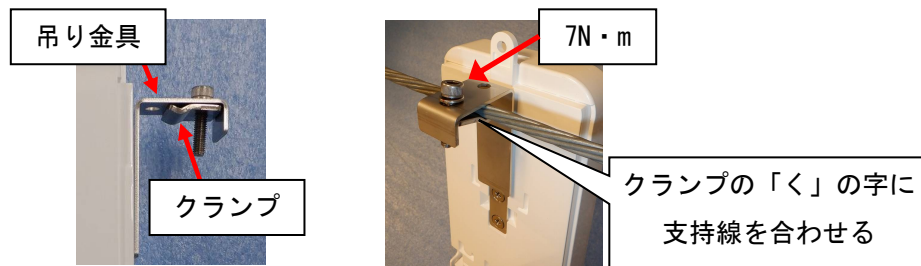


- | | | | |
|------------------|------------|--------|-------|
| ①本体 | ②蓋 | ③グロメット | ④吊り金具 |
| ⑤アダプトレイ | ⑥SCアダプタ | | |
| ⑦簡易4心コネクタ付きFOコード | | | |
| ⑧跳ね止め | ⑨ホルダ | ⑩外被把持具 | |
| ⑪ドロップケーブル把持具 | ⑫ドロップグロメット | | |

3. 設置方法

3-1. 架空(支持線)設置の場合

吊り金具を支持線に掛けてボルトをゆるめてください。吊り金具クランプの「く」の字の中央に支持線を合わせてボルトを $[7N \cdot m]$ で締め付けてください。



・ボルト締め付け後に吊り金具を外す場合

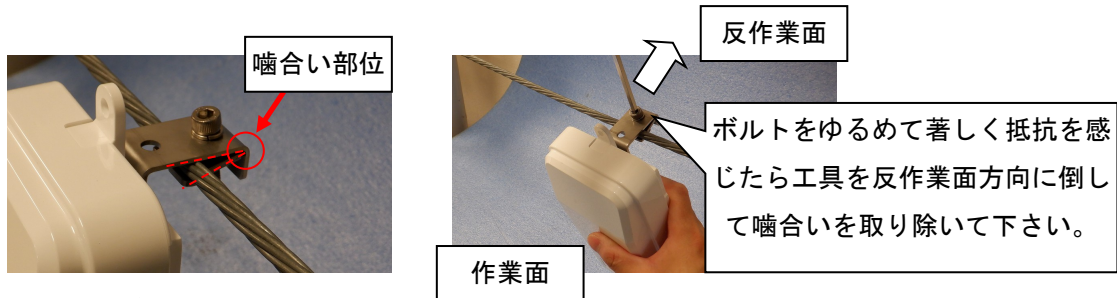
支持線に固定されたクランプは傾斜して本体と噛み合った状態にあります。噛み合いを解かずにボルトをゆるめるとネジ部が破損する恐れがありますので、以下の手順でボルトをゆるめて頂きますようお願い致します。

・ボルトを反時計方向に回転させてボルトをゆるめてください。

※途中で著しく抵抗が大きくなる場合がありますので回転を中止してください。

・次にボルトに差し込んだ工具(ボールポイント不可)を片手で持ち、もう片方の手は本体に添えて、工具を反作業面方向に倒してクランプの噛み合いを取り除いてください。

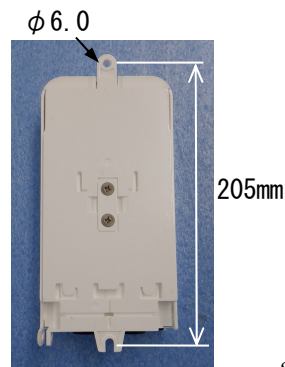
・その後、再びボルトをゆるめてください。再びボルトの回転に抵抗がある場合はこの作業を繰り返してください。



3-2. 壁面設置の場合

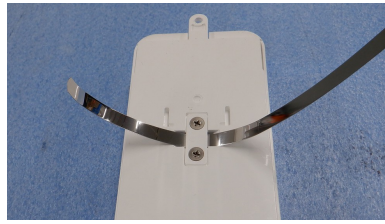
本体の壁固定用穴(内径: $\phi 6.0$)を使用して壁に固定してください。

※アンカー及びボルトは添付されておりません。ボルト及び壁の強度を考慮して準備をしてください。



3-3. 支柱設置の場合(吊金具タイプは取り付け不可)

本体背面のバンド取り付け部にバンドを通して支柱に固定してください。(バンド幅 10mm までの取り付け可能)

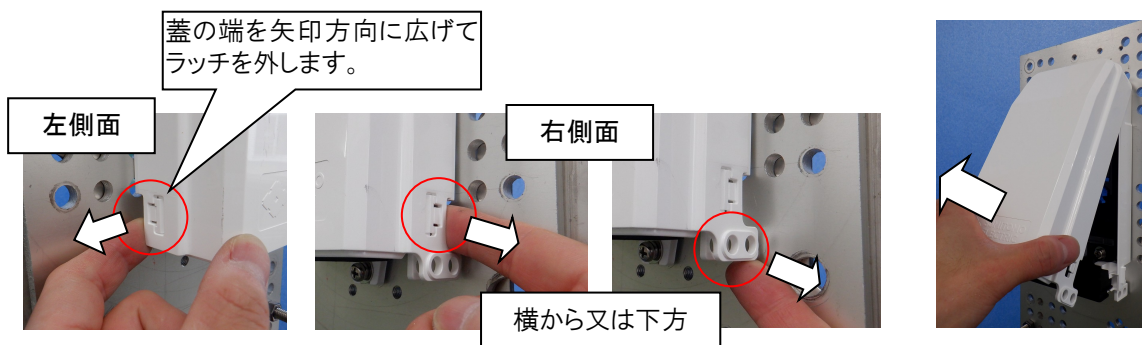


4. 蓋の開閉

4-1. 蓋の取外し

蓋の左右側面のラッチを外した後、蓋を手前に引き上げてください。

※片側ずつ順番に外すとやりやすい。



4-2. 蓋の取付け

本体の天面に蓋を嵌め込んだ後、ラッチを嵌合してください。

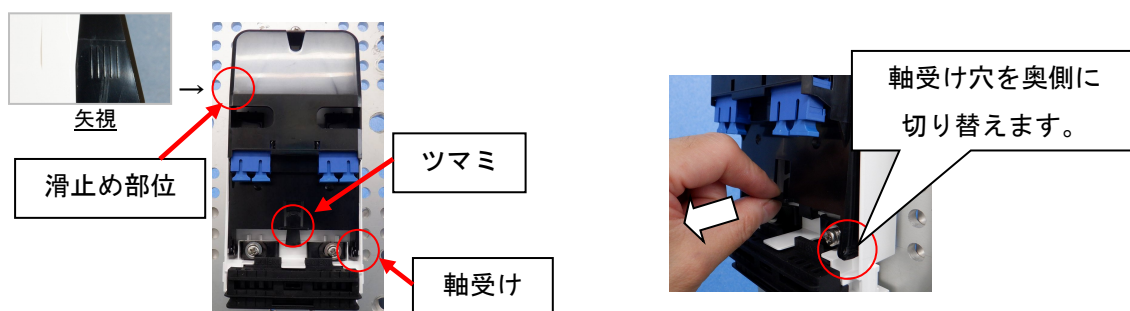
※ラッチが確実に嵌め込まれていることを確認してください。

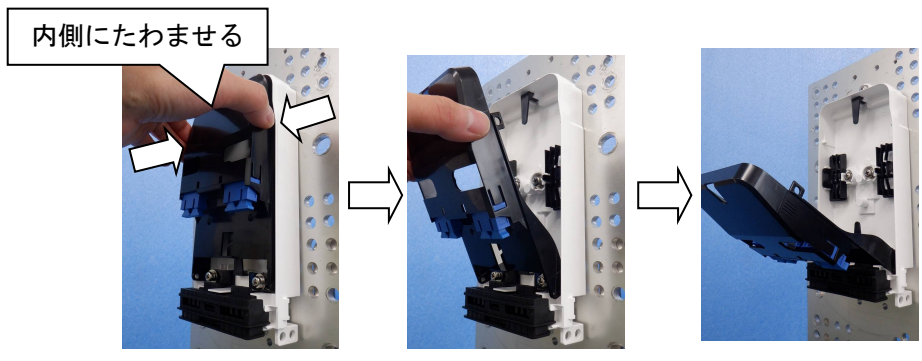


5. アダプトレイの開閉及び着脱

5-1. アダプトレイの開閉

アダプトレイの下側中央のツマミを手前に引いてアダプトレイの軸受け穴を手前から奥側に切り替えた後、アダプトレイの上部(滑止め部位)の左右を内側にたわませながら手前に倒してください。

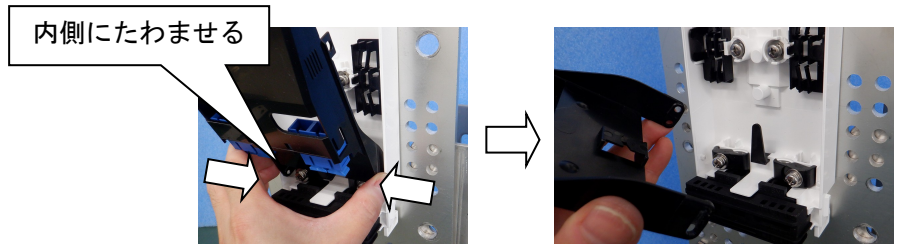




閉じる場合は開き方の逆の手順で行ってください。
心線が収納されている場合は心線の挟み込みに十分注意して作業してください。

5-2.アダプトレイの着脱

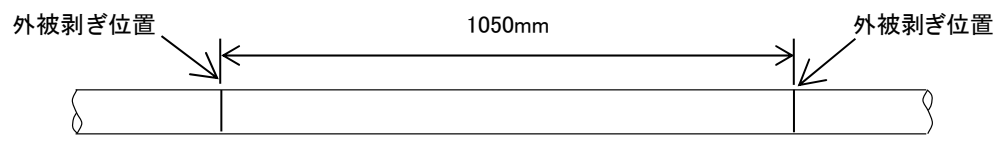
アダプトレイを取り外す場合は、アダプトレイが開いた状態でアダプトレイ下部の軸受け穴の周辺を内側にたわませて取り外します。アダプトレイを取付ける場合は取り外し方法の逆の手順で行ってください。



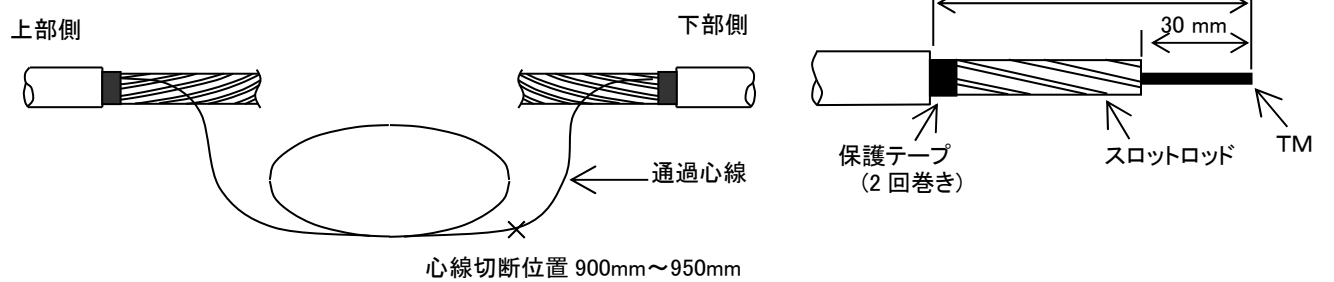
6. 一次側ケーブルの処理

6-1.通過ケーブル

下図の寸法でケーブル外被を剥ぎ取ります。ケーブル外被及び上巻きを取り除いた後、外被の剥ぎ際に保護用テープを2回巻いてください。(PVCテープ10mm幅、別途購入品)

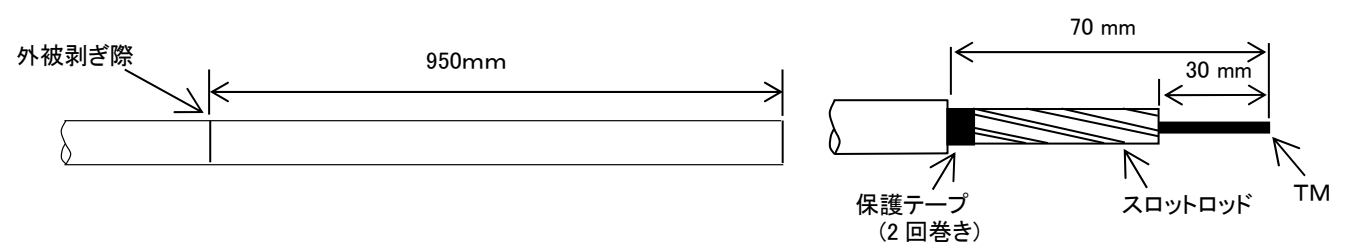


スロットロッドの溝から全ての心線を取り出してスロットロッドを切断してください。
スロットロッド及びテンションメンバの処理は下図の寸法で行ってください。



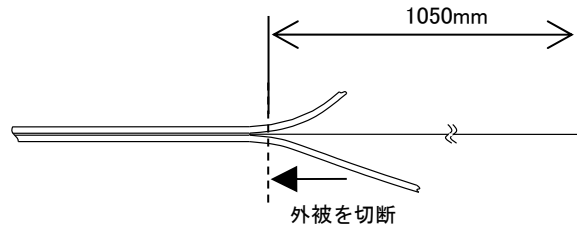
6-2.端末ケーブル

下図の寸法でケーブル外被及び上巻きを取り除きます。外被の剥ぎ際に保護用PVCテープ(10mm幅、別途購入品)を2回巻いてください。スロットロッド及びテンションメンバの処理は下図の寸法で行ってください。



6-3.ドロップケーブル

下図の寸法でケーブル外被を剥ぎ取ります。



7. ケーブルの固定

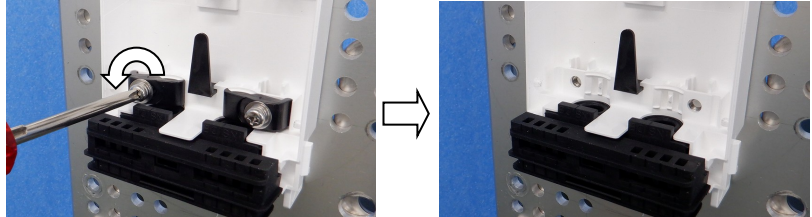
7-1.アダプトレイの取外し

アダプトレイを本体から取り外します。(5-2.項参照)

※簡易 4 心コネクタ付き FO コードがプレ配線されている場合は分岐部をホルダから取り外してください。作業中は心線に外傷を与えないよう十分に注意してください。

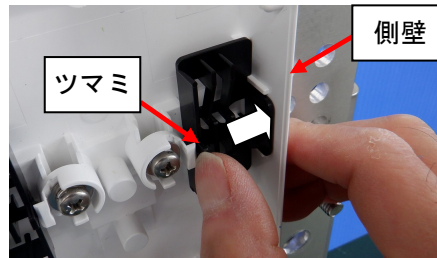
7-2.外被把持具の取外し

外被把持具のネジをゆるめて
外被把持具を取り外します。
部品の落下、紛失にご注意ください。



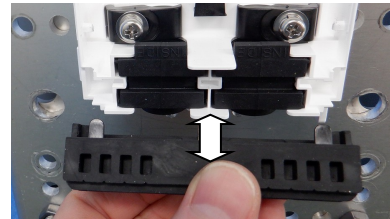
7-3.ホルダの取外し

ホルダのツマミを側壁方向に倒して
ラッチを外し、ホルダを取り外します。



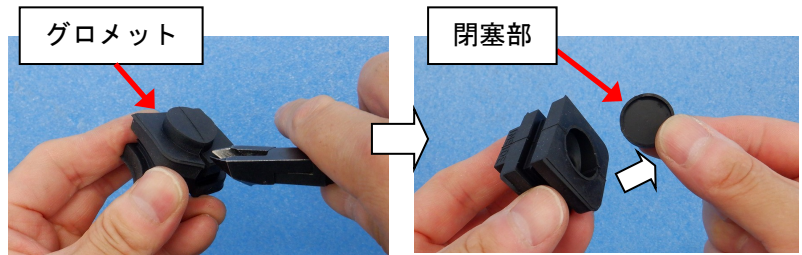
7-4.ドロップグロメットの取外し

ドロップグロメットを手前方向に持ち上げて取り外します。
※部品の落下、紛失にご注意ください。
また、取付けるときはドロップグロメット(ドロップケーブル把持具)
のベロを本体に差し込んでください。



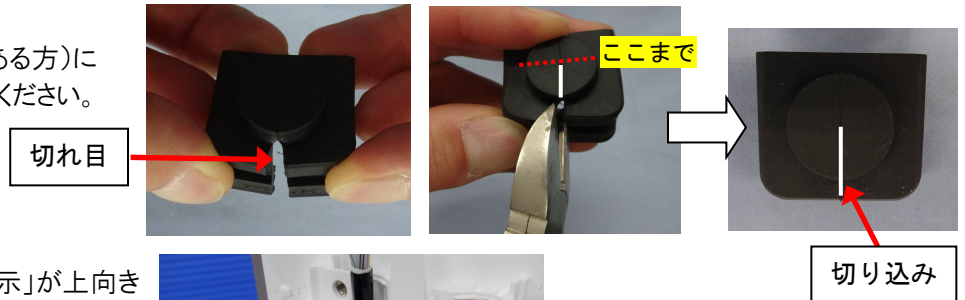
7-5.グロメットの取付け

グロメットを本体から取り外して、
①通過ケーブル及び端末ケーブルの場合
グロメットの閉塞部を取り除いてください。

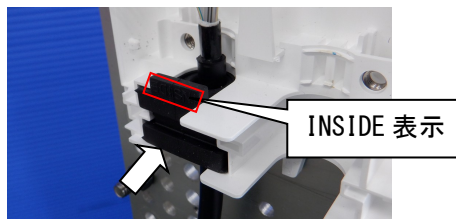


②ドロップケーブルの場合

グロメットの閉塞部(切れ目がある方)に
半分ほどまで切り込みを入れてください。

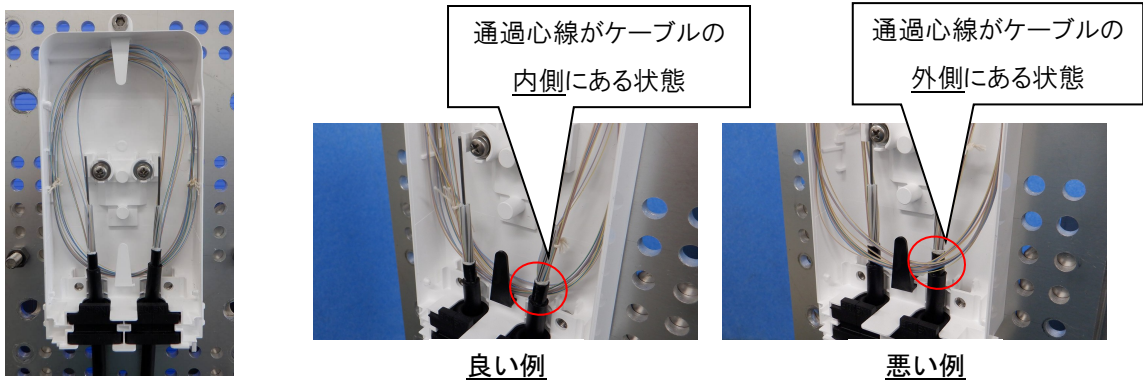


(①②共通)グロメットの「INSIDE 表示」が上向き
になるようにケーブルに取り付けて、本体に
底付きするまで挿入してください。



7-6.通過心線の収納

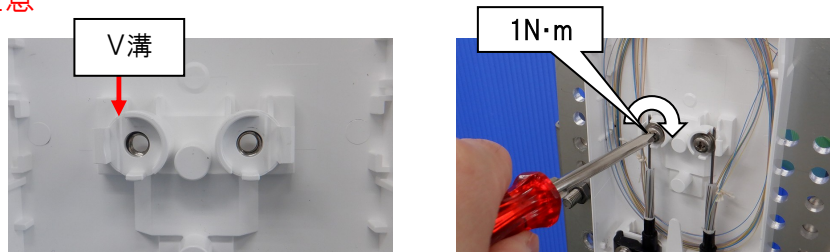
心線を輪取りして本体の収納部に心線を収納してください。なお、心線収納はテンションメンバを固定する前に行い、輪取りした心線は必ず本体とケーブルの間に収まるように収納してください。



7-7.テンションメンバの固定(通過ケーブル及び端末ケーブルの場合)

TM 固定部の V 溝にテンションメンバを合わせて、ネジをトルク 1N・m で締め付けます。又はネジを手締めで締め付けて著しく抵抗が生じたところから更に 1/4 回転締め付け てください。ちなみにネジは 4 回転以上で外れますので部品の脱落、紛失にご注意ください。

【注意】締めすぎ注意

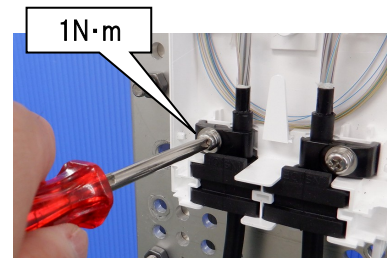


7-8.ケーブル外被の固定

①通過ケーブル及び端末ケーブルの場合

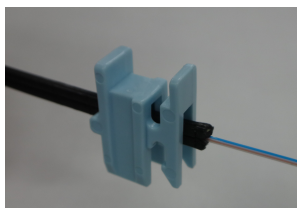
外被把持具を本体に戻してネジをトルク 1N・m で締め付けます。又はネジを手締めで締め付けて著しく抵抗が生じたところから更に 1/4 回転締め付け てください。

【注意】締めすぎ注意

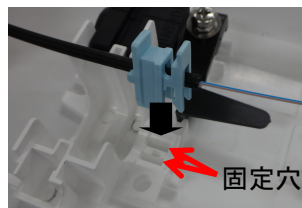


②ドロップケーブルの場合

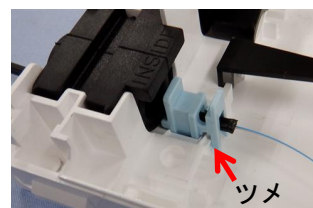
ドロップケーブルを固定したドロップ把持具を、本体の固定穴に差し込んで固定してください。



①ケーブル挿入側を下に向ける



②本体の固定穴に上から差し込む



③ツメが引かかる（カチッと音がする）までから押し込む

7-9.ホルダの取付け

ホルダを元の位置に戻してラッチを嵌合してください。

【注意】心線の挟み込みが無いよう十分注意して作業を行ってください。

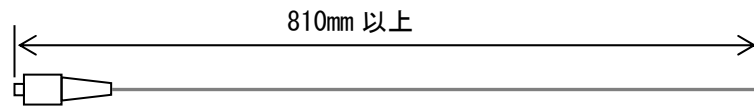


8. 一次側コネクタの接続

8-1. 調尺(プラ配線タイプの製品は不要)

光コネクタ付きコードの心線長: 810mm 以上

(アダプトレイから導出された光コネクタ付きコード心線が本体収納部を1周して直近のホルダに収まる長さ)



8-2. 光コネクタ接続

【注意】2段タイプ(SC8 心)のアダプトレイは曲げ特性強化光ファイバ(R15)をご使用ください。R30 には対応していません。

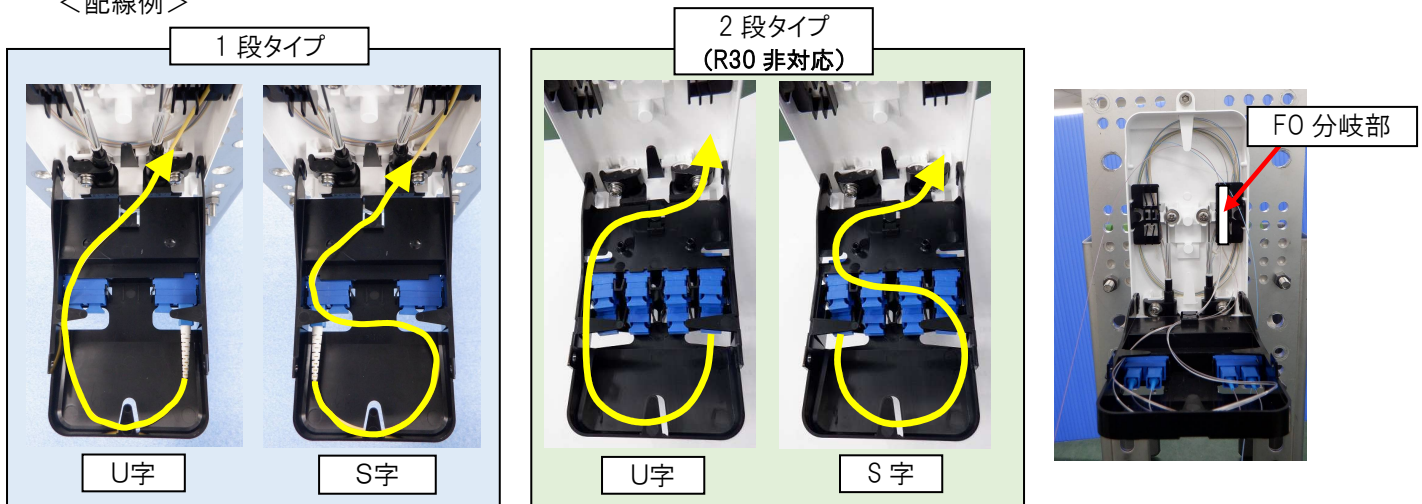
アダプトレイを本体に取り付けてください。(5-2.項参照)

光コネクタを SC アダプタに嵌合して下図のように心線を配線してください。

※光コネクタの取り扱いに注意して確実に嵌合されていることを確認してください。

(簡易 4 心コネクタ付き FO コードがプラ配線されている場合は、FO 分岐部をホルダに戻してください。)

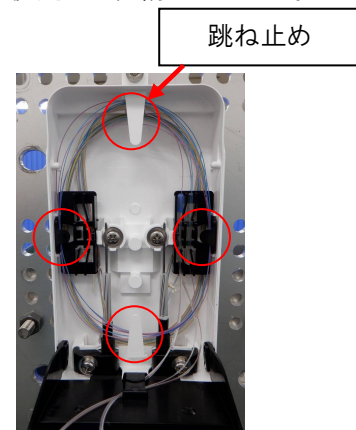
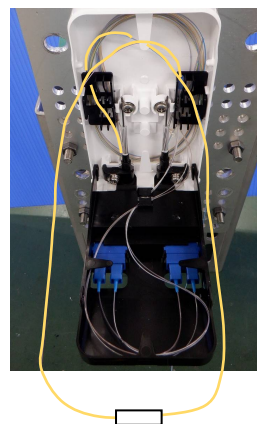
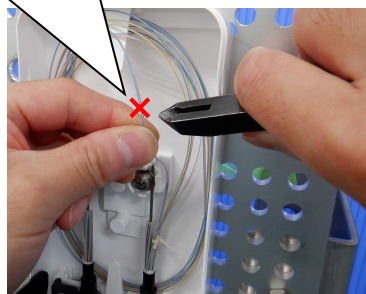
<配線例>



8-3. 心線接続

主ケーブルの上部側の心線と簡易 4 心コネクタ付き FO コード心線、もしくは光コネクタ付きコード単心線を接続します。接続部をホルダに固定して心線余長を収納します、上下左右の跳ね止めを使用して収納してください。

上部側の外被際から 900mm~950mm の位置で切断してください。



8-3. アダプトレイ・蓋を閉じる

心線の飛び跳ねや挟み込みが無い事を確認してアダプトレイを閉じてください(5-1.項参照)

ドロップグロメットを本体に戻して蓋を閉じてください(7-4.項、4-2.項参照)。

9. 二次側光コネクタの接続

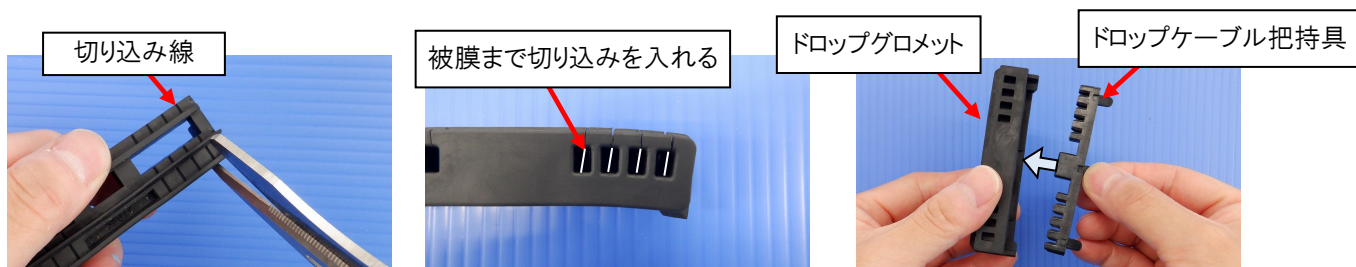
9-1. 蓋の取外し

蓋の左右側面のラッチを外して、蓋を手前に引き上げてください。(4-1.項参照)

9-2. ドロップグロメットの処理

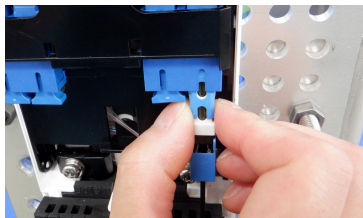
ドロップグロメットの「切り込み線」に沿ってケーブル導入穴の被膜まで切り込み※を入れてください(最大導入条数分)。その後、ドロップケーブル把持具をドロップグロメットに取り付けてください。

※ドロップ把持具が取り付けられているときは外してから切り込みを入れてください。



9-3. 二次側光コネクタの接続

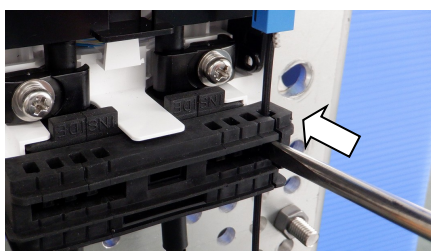
光コネクタをSCアダプタに接続してください。光コネクタの取り扱いに注意して確実に嵌合していることを確認してください。



9-4. ドロップケーブルの固定

ドロップケーブルをドロップグロメットの切り込みから挿入して、ドロップケーブル把持具の溝に底付きするまで押し込んでください。

※ドロップ把持具を外してからケーブルを挿入するとやりやすい。



二次側光コネクタの接続及び配線の固定した後にアダプトレイを開く場合、本体とドロップグロメットが干渉する場合がありますので、ドロップグロメットを手前方向に引いて干渉を取り除いてから開いてください。

9-5. 蓋の取付け

蓋の天面を本体に嵌め込んだ後、ラッチを嵌合してください。(4-2.項参照)

ラッチが確実に嵌め込まれていることを確認してください。

※本体と蓋の左下にある穴は、紐を通して蓋の落下防止や、錠を取付けて不正に開くことを防止する場合に使用してください。

以上